

2026年
2月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

衛研インスタ
始めました！



EIKEN_YOKOHAMA_OFFICIAL

今月の感染症流行状況

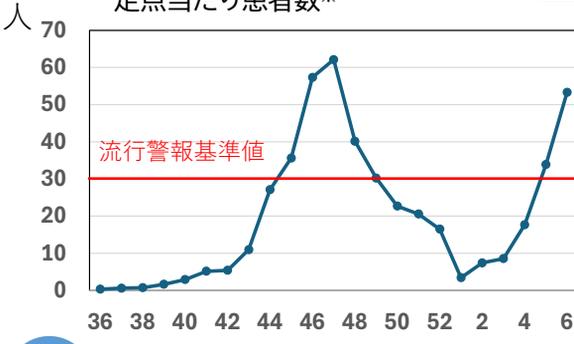


疾患名	流行状況	説明
インフルエンザ	 大流行 	年末に減少した患者数が再び増加 15歳未満の報告が約80%を占める
感染性胃腸炎	 流行中 	例年を上回る患者数から、さらに増加 冬の食中毒の主な原因、今月も事例あり
梅毒	注意 	患者の年齢層は20歳～90歳代と幅広い 妊婦の感染例も報告あり

今月のトピック インフルエンザの患者数が警報レベルに！

01 患者報告数の動き

定点当たり患者数*



2025/2026シーズンの動向をグラフでチェック

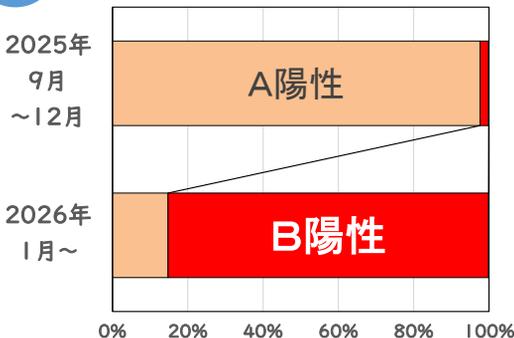
● 12月下旬に患者数が減少しましたが、再び患者数が増加し、流行警報基準値の定点当たり30人を大幅に超えました。

● 患者数の増加に連動し、学級閉鎖の報告数も増加しています。

※毎週決まった医療機関(=定点)から報告される患者数の平均値



02 型別発生状況 -インフルエンザ迅速検査キットによる型別発生状況-



- インフルエンザは主にA型とB型が流行します。
- 年明け以降、A型に代わりB型の割合が増加しています。シーズン後半の流行の主流はB型です。
- A型にかかった人でもB型に再度感染することがあります。注意を！

こまめな手洗い、咳エチケット、定期的な換気など、基本の感染対策をしっかりと

